

岐阜県ボランティア・市民活動フェスティバル2017開催要項

1 趣 旨

一人ひとりの価値観や生活スタイルが多様化するなか、すべての人々が役割を持ち、他者や社会とのつながりをつくり、自分らしく生きていくことを誰しもが願っています。

今、地域においては、社会的孤立や経済的困窮の問題を背景として、様々な生活課題が複合化しており、公的なサービスの充実に加え、地域住民を主体とする活動や関係機関の連携による支え合う仕組みづくりが不可欠となっています。

そこで、ボランティア・市民活動者が一堂に集い、地域の生活課題の解決に向けて取り組む実践活動を共有し、今後のボランティア、市民活動のあり方について考えることを目的に開催します。

2 テーマ 「地域で自分らしく暮らすために～人との出会いと社会のつながり～」

3 主 催 社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

4 共 催 社会福祉法人 飛騨市社会福祉協議会

5 協 力 岐阜県ボランティア・市民活動フェスティバル 2017 企画委員会

6 後 援 岐阜県、飛騨市、岐阜県教育委員会、飛騨市教育委員会(予定)

7 期 日 平成29年10月28日(土)

8 会 場 [メイン会場]

飛騨市文化交流センター (飛騨市古川町若宮 2-1-63 TEL:0577-73-0180)

[分科会会場]

古川町公民館(古川町総合会館) (飛騨市古川町若宮 2-1-66 TEL:0577-73-6115)

9 参 加 者 ボランティア・市民活動者、社会福祉協議会職員、市町村のNPO、住民活動担当課職員、活動に関心のある方等 約600名

10 内 容

9:30~10:00 受付

10:00~10:20 開会

10:20~12:00 講演 「住民が主役の助け合い活動～ボランティアの力をつむぐ～」

講師 龍谷大学 社会学部 現代福祉学科 教授

日本ボランティアコーディネーター協会代表理事 筒井 のり子 氏

12:00~13:00 昼食休憩

13:00~15:30 分科会

15:30 閉会

【分科会（13:00～15:30）】

第1分科会	テーマ	介護支援ボランティアポイント制度等に学ぶ活動の仕組み
	趣旨	<p>飛騨市は高齢化率が顕著に高い地域や中山間地域が点在し、元気な高齢者が支援の必要な高齢者を支えていく仕組みや住民参加型の有償による支援活動が構築されています。</p> <p>この分科会では、こうした活動の目的、内容、成果と課題について学ぶとともに、それぞれの地域の実情にあった活動の仕組みづくりについて考えます。</p>
	発表者	<ul style="list-style-type: none"> ・船坂 昌弘 氏（飛騨市社会福祉協議会 総括職員） ・都竹 信也 氏（飛騨市市民福祉部 地域包括ケア課 地域医療係長） ・稲葉 眞智子 氏（飛騨市介護サポーター（介護支援ボランティア））
	基調講演及び コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・後藤 康文 氏（岐阜経済大学経済学部 講師）
第2分科会	テーマ	“わたし”を活かせる地域づくり～活動事例を通して～
	趣旨	<p>少子高齢化が進むなか、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる地域づくりが進められています。</p> <p>この分科会では、既にボランティア活動をしている方、興味がある又はこれから活動を始めたい方にもぜひご参加いただき、活動事例を参考に“わたし”にできるボランティア活動や地域での活動は何かを考えていきます。</p>
	発表者	<ul style="list-style-type: none"> ・中田 幸男 氏（高山市自主活動連絡会 会長） ・奥原 安弥子 氏（高山市社会福祉協議会 高根支部 コーディネーター） ・ウォーレン・デッカー 氏（桃山学院大学 職員）
	基調講演及び コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・朝倉 美江 氏（金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科 教授）
第3分科会	テーマ	災害ボランティアセンターの運営とボランティア活動
	趣旨	<p>災害ボランティアセンターは社協を中核としながら多様な団体と連携し、被災者の生活支援やニーズに対応する役割があります。</p> <p>この分科会では、平成26年広島市土砂災害、平成27年関東・東北豪雨災害において、社協職員をはじめ地元住民やボランティアが災害ボランティアセンターの運営や被災者支援にどのように関わったかを共有し、今後のあり方について考えます。</p>
	発表者	<ul style="list-style-type: none"> ・三村 誠司 氏（広島市安佐南区社会福祉協議会 事務局長） ・深谷 和美 氏（常総市社会福祉協議会 地域係 係長）
	基調講演及び コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・松山 文紀 氏（認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード スタッフ 震災がつなぐ全国ネットワーク 事務局長）
第4分科会	テーマ	地域が地域を支える～生活支援ボランティア～
	趣旨	<p>自分の住み慣れた地域で生活していくためには、制度や公的なサービスに加え、地域住民の主体的な「助け合い」が必要であり、買い物や移送支援、ちょっとした困りごとへのサポート等、生活支援活動が広がりつつあります。</p> <p>この分科会では、それぞれの団体から実践活動の内容や手法について学び、自分たちの地域を、自分たちの力で支え合う方法について考えます。</p>
	発表者	<ul style="list-style-type: none"> ・小椋 光恭 氏（ちょっとした手助けサポーター 会長） ・杉山 仁仕 氏（山県市社会福祉協議会 事務局長） ・笠井 弘子 氏（山県市社会福祉協議会 総括責任者） ・山田 与蔵 氏（みのかも支え愛リング 会長） ・柘植 宏一 氏（みのかも支え愛リング 副会長）
	コーディネーター	<ul style="list-style-type: none"> ・筒井 のり子 氏（龍谷大学社会学部現代福祉学科 教授 日本ボランティアコーディネーター協会代表理事）

1.1 会場案内



1.2 参加申込

市町村社協において参加者を取りまとめの上、「参加申込書」により、**9月22日(金)までに、岐阜県社会福祉協議会**あてお申し込みください。また、分科会会場、昼食会場については、参加券にてお知らせします。

1.3 昼食

昼食については、各自でご準備ください。また、600円(税込み、お茶つき)の弁当を斡旋しますので、希望される方は「参加申込書」により、申し込みください。市町村社協ごとに参加者の弁当の注文を取りまとめていただきます。当日、受付で市町村社協に請求書をお渡します。振り込みにより、お支払いください。なお、申し込み後の変更・キャンセルは10月19日(木)までとさせていただきます。これ以降の変更は、受付いたしかねますので、あらかじめご了承ください。昼食は各分科会会場配布します。

1.4 駐車場

駐車台数に限りがございますので、可能な限り公共交通機関をご利用ください。また、大型バス、マイクロバス、自家用車等でお越しの方は若宮駐車場をご利用ください。なお、バスについては斜線部分にお止めください。(11.会場案内参照)

1.5 その他

台風等の災害や不測の事態で事業を中止する場合は、本会ホームページに表示しますので、前日及び当日に本会ホームページで確認してください。

1.6 問合せ先

【社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会】

〒500-8385 岐阜市下奈良2-2-1 岐阜県福祉農業会館内

TEL:058-274-2940/058-273-1111(内線2518)/FAX:058-274-2945

【社会福祉法人飛驒市社会福祉協議会】

〒509-4221 岐阜県飛驒市古川町若宮2-1-66 TEL:0577-73-3214